

スーパーマルチ DN メーター 取扱説明書

製品番号	05-05-0040 (シルバー)
	05-05-0041 (ブラック)

適応車種	2014 以降 XL (スポーツスター)
	2012 以降 FXDB、FXDWG (ダイナ)
	2011 以降 FXCWC、FXS、FXSB (ソフテイル)
	※4 インチスピードメーター装着車

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品をお手入れする際には、ガソリンやシンナー等を使用しないで下さい。ラバーや樹脂部品の劣化の恐れがあります。
- ◎当製品の取り付けには、インチサイズの工具が必要です。
- ◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
- ◎H. I. D. や他社製 LED ヘッドライトキット、追加メーター類との同時装着は出来ません。
- ◎前輪タイヤ外径補正機能により、表示速度を増減補正する事が出来ませんが、不適切な設定を行なえば速度超過により取り締まりを受ける原因ともなります。公道でお使いになる場合は、ご自身の責任に於いてご使用下さい。
- ◎製品プログラムは予告無く変更・改良される場合があります。
同一の商品番号であっても製造時期により、動作や画面が多少異なる可能性があります。予めご了承下さい。

～特徴～

◎純正メーターと交換するだけで、一切の配線加工等を必要とせず装着する事が出来ます。

速度、回転数、ギアポジション、燃料計、時刻表示、バッテリー電圧表示や、前輪タイヤ外径補正、バックライト色変更等、非常に多くの機能を搭載しています。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

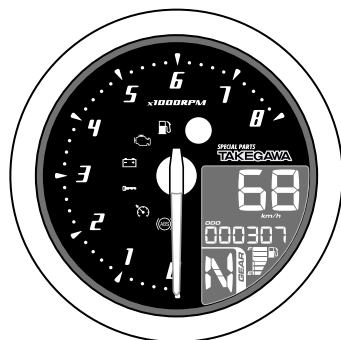
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



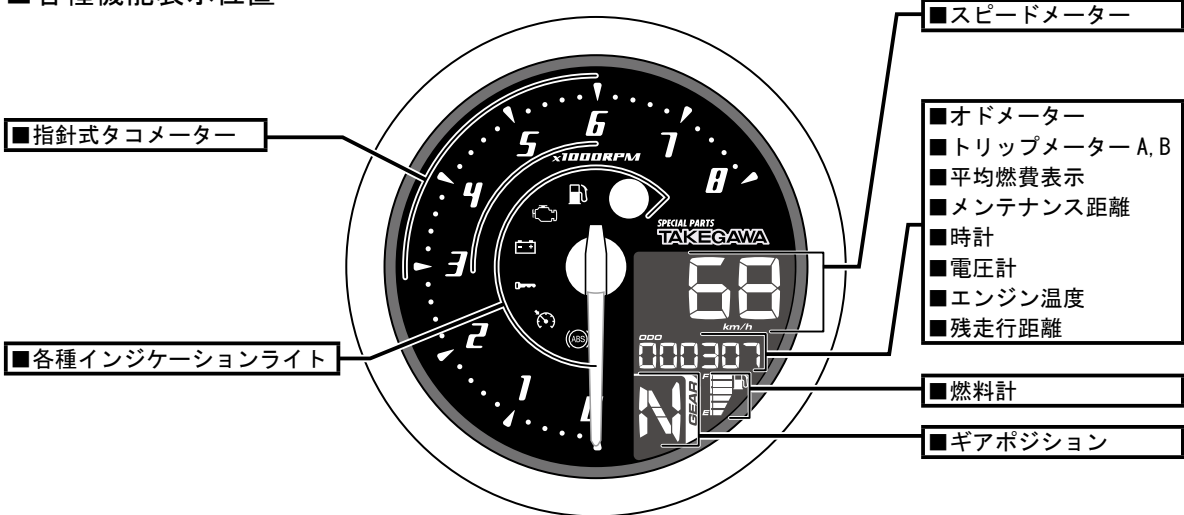
部品名	個数
スーパーマルチ DN メーター	1

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

■各種機能表示位置



■各種機能一覧 設定方法見出し番号

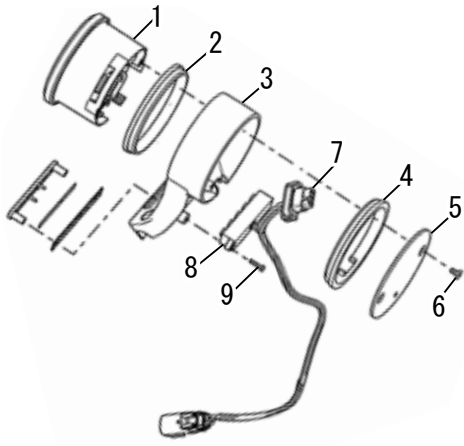
	スピードメーター	表示範囲 : 0 ~ 360km/h タイヤ外周設定 設定単位 : 1% 設定範囲 : 50 ~ 210%	設定→見出し番号④
	タコメーター	表示範囲 : 0 ~ 8000rpm 回転数警告ライト 設定範囲 : 2000 ~ 8000rpm 設定単位 : 100rpm 回転数警告設定 設定範囲 : F-OFF (点灯), F-ON (点滅)	設定→見出し番号⑥
	オドメーター	表示範囲 : 0 ~ 999999km 表示単位 : 1km (範囲を超えると 0 に戻ります)	設定→見出し番号⑩
	トリップメーター A, B	表示範囲 : 0 ~ 9999.9km 表示単位 : 0.1km (範囲を超えると 0 に戻ります)	設定→見出し番号⑧
	平均燃費表示	表示範囲 : OFF、L/100km、km/L、MGP (US 規格)、MGP (UK 規格)	設定→見出し番号⑦
	メンテナンス距離	設定範囲 : OFF、500 ~ 16,000km 設定単位 : 100km	設定→見出し番号⑨
	ギアポジション	表示範囲 : 全ギア表示、OFF、TOP ギア、ニュートラル / TOP ギア	設定→見出し番号⑤
	燃料計	表示範囲 : 6 段階 ※車両により別途フューエルキットが必要 フューエルセンサー 設定範囲 : OFF ハーレーダビッドソン社製 フューエルレベルセンサーキット (PN 61200008A), スポーツスターフューエルスイッチ ダイナ・ソフテイルフューエルスイッチ 燃料タンク容量 設定範囲 : OFF/1.0 ~ 9.9 ガロン (約 3.8 ~ 37.5L)	設定→見出し番号⑦
	バックライト	輝度 設定範囲 : 1/5 (暗い) ~ 5/5 (明るい) 色 設定範囲 : 赤、橙、黄、緑、青、空、紫、白	設定→見出し番号③

	時計	設定範囲 : 12/24 時間	設定→見出し番号①
	電圧計	表示範囲 : 8 ~ 18V	設定→見出し番号⑧
	エンジン温度	設定範囲 : -40 ~ 300°C	設定→見出し番号⑧
	残走行距離	表示範囲 : 0 ~ 9,999km	設定→見出し番号⑭

メーターのサイズ	φ 94.7 X 55.8mm
メーターの重量	165g
動作電圧	DC12V
使用温度範囲	-10 ~ +60°C

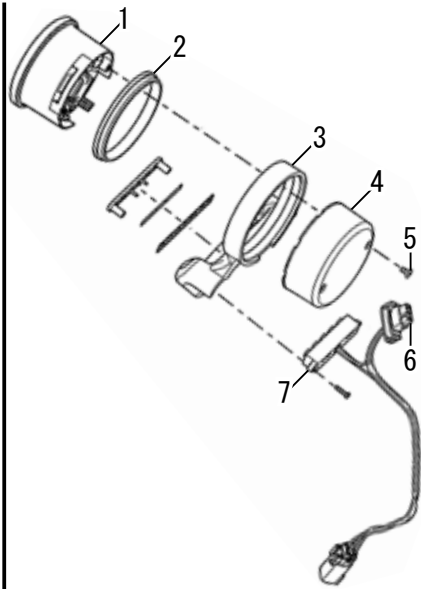
インジケーションライト	アイコン
回転警告ライト (赤色灯)	
燃料残量警告ライト (黄色灯)	
エンジンチェックライト (黄色灯)	
定電圧警告ライト (赤色灯)	
セキュリティーライト (赤色灯)	
クルーズコントロールライト (橙 / 緑色灯)	
ABS ライト (黄色灯)	

取り付け要領



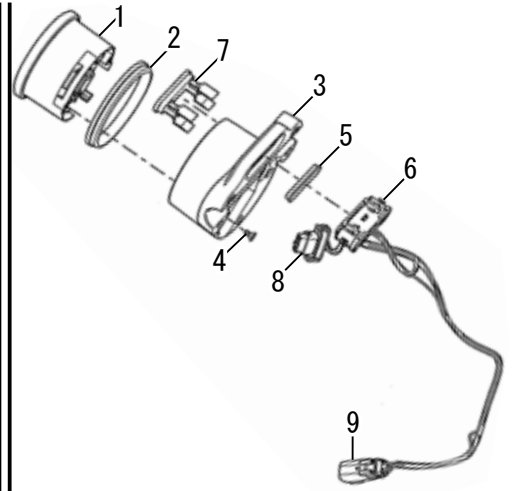
- XL883L ■ XL883N ■ XL883R
- XL1200CB
- XL1200T ■ XL1200V

番号	部品名	個数
1	スーパーマルチ DN メーター	1
2	フロントガスケット	1
3	ハウジング	1
4	ガスケット	1
5	バックプレート	1
6	スクリュー	2
7	スピードメーターコネクタ	1
8	インジケータランプモジュール	1
9	ファスナー	2



- XL1200X ■ XL1200CX

番号	部品名	個数
1	スーパーマルチ DN メーター	1
2	ガスケット	1
3	ハウジング	1
4	バックプレート	1
5	スクリュー	2
6	スピードメーターコネクタ	1
7	インジケータランプモジュール	1



- XL1200C ■ XL1200CA

番号	部品名	個数
1	スーパーマルチ DN メーター	1
2	ガスケット	1
3	ハウジング	1
4	スクリュー	2
5	インジケータランプレンズ	1
6	インジケータランプモジュール	1
7	インジケータランプベゼル	1
8	スピードメーターコネクタ	1
9	コネクタ	1

○上記図を参照の上ノーマルメーターを外し、逆手順にてスーパーマルチ DN メーターを取り付けて下さい。
 ○取り付けの際は、スクリューにネジロック剤を塗布して下さい。
 ○スクリューの脱着には、インチサイズの6角レンチが必要です。

注意 “ダイナ”又は“ソフテイル”の取り付け手順はハーレーダビッドソンサービスマニュアルをご参照下さい。
 製品のデザインや機能は変更される場合があります。

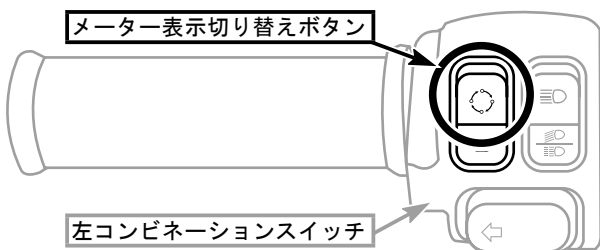
適応車種一覧 ※適応車種全て“4インチスピードメーター”装着車に限りです。

2014年以降	XL883L (スポーツスター 883 スーパーロー)・XL883R (スポーツスター 883R)・XL883N (スポーツスター 883 Iron) XL1200C (スポーツスター 1200 カスタム)・XL1200X (スポーツスター フォーティエイト) XL1200V (スポーツスター セブティーツー)・XL1200CA (スポーツスター 1200 リミテッド) XL1200CB(スポーツスター1200リミテッド)・XL1200T(スーパーロー1200T)・XL1200CX(スポーツスターXL1200CXロードスター) ※上記車両すべて4インチスピードメーター装着車に限りです。
2012年以降	FXDB (ダイナストリートポップ)・FXDWG (ダイナワイドグライド) ※車両すべて4インチスピードメーター装着車に限りです。
2011年以降	FXCWC (ソフテイル ロッカーカスタム)・FXS (ソフテイル ブラックライン)・FXSB (ソフテイル ブレイクアウト) ※上記車両すべて4インチスピードメーター装着車に限りです。

フューエル機能について

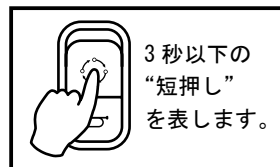
■ XL (スポーツスター) は、燃料残量警告ライトのみが作動します。
 ※燃料計表示を作動させるには、別売のフューエルレベルセンサーキット (61200008A: ハーレーダビッドソン社製) が別途必要です。

操作方法



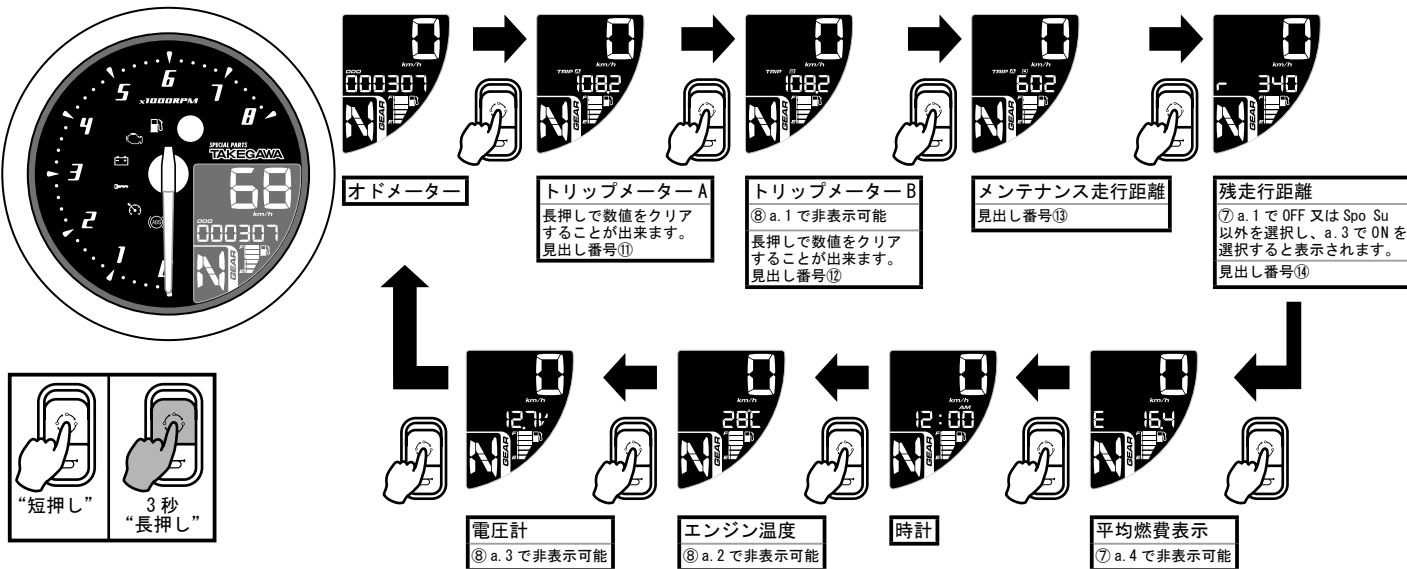
■全ての操作は、メーター表示切り替えボタン (左イラスト) にて行います。
 ■基本操作
 表示送り・設定送りは3秒以下の“短押し”
 設定画面への移動・設定内容の決定は3秒以上の“長押し”

■アイコン表示 ※下記アイコン表示にて“短押し”“長押し”を表現します。



メイン画面液晶表示切り替え

■メーター表示切り替えボタンを“短押し”することで、液晶画面に表示された各機能をご覧ください。



アジャスト画面の入り方と各種設定画面の切り替え方法

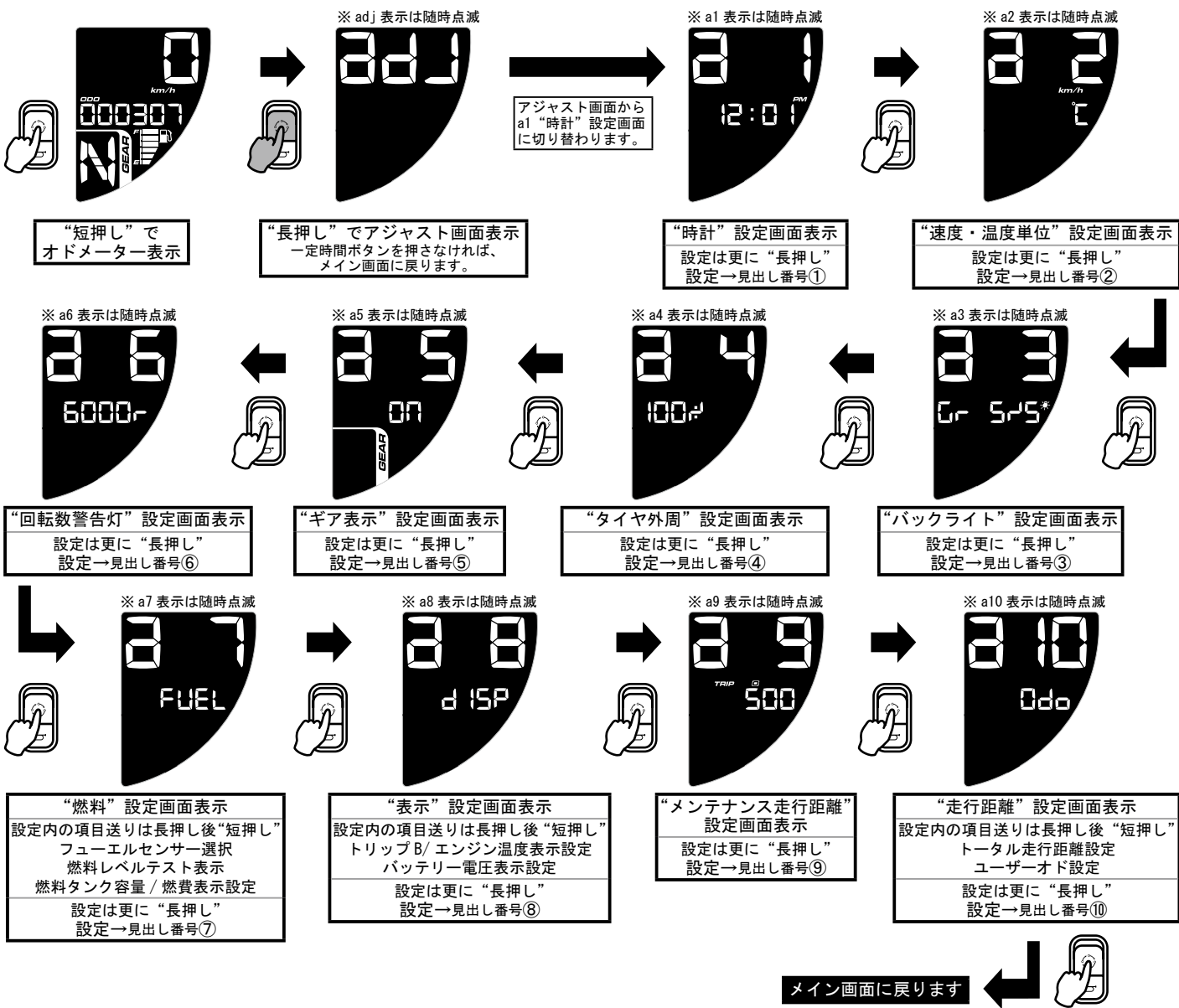
■アジャスト画面は各種設定の変更が行えます。

※アジャスト画面に入るには、必ず液晶画面機能表示を短押しで“0D0（オドメーター）”に合わせる必要があります。

■“0D0（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ることが出来ます。

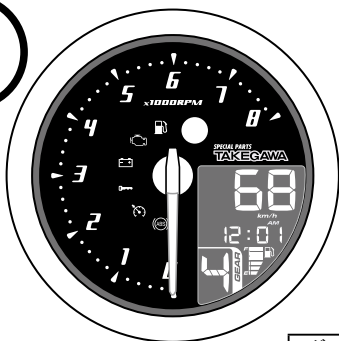
■アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。a1 ~ a10 への切り替えは“短押し”により、切り替え出来ます。

■更に選択する機能の設定画面に入るには、“長押し”を行います。選択した機能内での項目切り替えは、“短押し”になります。決定は“長押し”です。



① a1 時刻設定

1



■液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
■ a1 “時計” 設定画面の状態を“長押し”し、a1 “時計” 設定画面に入ります。

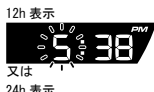
※ a1 表示は随時点滅



■ a1 “時計” 設定画面



※ 12h・24h 表示は随時点滅



※ 選択部分は随時点滅

設定画面に入ると、12h、又は 24h の表示が点滅します。ここで 12h、又は 24h の表示方法を選択します。12h と 24h の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

決定後、時間の(時)の部分が点滅し、設定が行えます。“短押し”で(時)を設定し、“長押し”することで、決定となります。決定後(分)の部分が点滅し、同様に設定が行えます。設定後は“長押し”で、決定します。

12h 表示を選択した場合、AM、又は PM の部分のどちらかも同時に点滅します。時間設定時、AM と PM の点滅を確認し、午前か午後か判断して下さい。

a1 “時計” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“長押し”で設定画面に入ります。

② a2 速度・温度単位設定

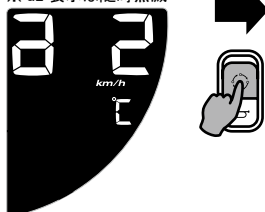
2

■液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
■ a1 “時計” 設定画面の状態を“短押し”し、a2 “速度・温度単位” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



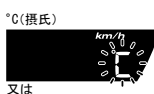
※ a2 表示は随時点滅



■ a2 “速度・温度単位” 設定画面



※ km/h・MPH 表示は随時点滅



※ 選択部分は随時点滅

設定画面に入ると、km/h、又は MPH の表示が点滅します。ここで速度単位 (km/h、又は MPH) の表示方法を選択します。km/h と MPH の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

ご注意下さい。日本はメートル法の為、km/h を選択して下さい。

決定後、°C (摂氏)、又は °F (華氏) の表示が点滅します。ここで温度単位 (°C、又は °F) の表示方法を選択します。°C、と °F の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

ご注意下さい。日本は摂氏の為、°C を選択して下さい。

a2 “速度・温度単位” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a2 “速度・温度単位” 設定画面へ切り替えます。

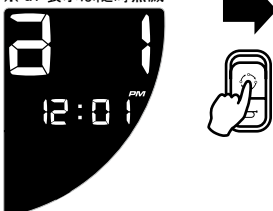
“長押し”で設定画面に入ります。

③ a3 バックライト設定

3

■液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
■ a1 “時計” 設定画面の状態を“短押し”し、a3 “バックライト” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



※ a3 表示は随時点滅



■ a3 “バックライト” 設定画面



※ 選択部分は随時点滅

カラー設定表示			
RE 赤	OR 橙	YE 黄	
GR 緑	BL 青	IN 空	
PUR 紫	WJ 白		

設定画面に入ると、バックライトの色表示が点滅します。ここでバックライトの色を選択します。(8色) バックライトの色の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

色設定 (8色)
赤・橙・黄・緑・青・空・紫・白

決定後、バックライト明るさ表示が点滅します。ここでバックライト明るさを選択します。明るさの切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

設定範囲: 1/5 (最も暗い) ~ 5/5 (最も明るい)
設定単位: 1ステップあたり 20%ずつ明るさが変化

a3 “バックライト” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a3 “バックライト” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。

④ a4 タイヤ外周設定

4

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。
- アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態“短押し”し、a4 “タイヤ外周” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



※ a4 表示は随時点滅



■ a4 “タイヤ外周” 設定画面



数字の切り替え “短押し”

数字の決定 “長押し”

数字決定後は次の位に切り替わります。



※選択部分は随時点滅

設定画面に入ると、100の位の数字が点滅します。ここでタイヤ外周パーセンテージを入力します。点滅している位の数字の変更は、“短押し”で行います。数字の決定は“長押し”になります。決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。最後の位を決定（長押し）すると設定完了となります。設定範囲：50～210% “タイヤ外周パーセンテージ”は下記計算方法にてお求め頂き、設定画面にて入力作業を行って下さい。



a4 “タイヤ外周” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

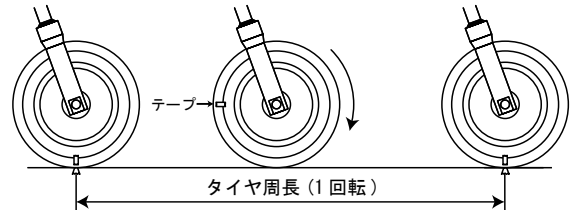
アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a4 “タイヤ外周” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。



■ タイヤ外周パーセンテージ

タイヤの銘柄やサイズを純正から変更し、外周長が変わった場合、純正タイヤと変更するタイヤの外周長を測定して下さい。



計算例)

変更するタイヤの外周長 135cm / 純正タイヤの外周長 128.6cm の場合 $135 \div 128.6 \times 100 = 104.97 \dots$ によって、この場合は 105 % と入力します。

$$\frac{\text{変更するタイヤの外周長}}{\text{純正タイヤの外周長}} \times 100 = \text{補正值}$$

例) 135cm 例) 128.6cm 例) 105

⑤ a5 ギア表示設定

5

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。
- アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態“短押し”し、a5 “ギア表示” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



※ a5 表示は随時点滅



■ a5 “ギア表示” 設定画面



※選択部分は随時点滅



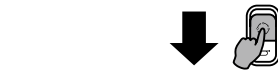
項目の切り替え “短押し”

項目の決定 “長押し”

設定画面に入ると、“現在の表示方法”が点滅します。ここでギアポジションの表示方法を選択します。点滅している表示方法の変更は、“短押し”で行います。表示方法の決定は“長押し”になります。

設定項目
全ギア表示・非表示・TOPギア・ニュートラル/TOPギアの4タイプから設定可能
※設定表示は左記イラストをご覧ください。

⚠️ ご注意下さい。
TOPギア・ニュートラル/TOPギアに設定した場合、一度走行することでメーターが学習し、表示が確定します。ギアの設定を再学習するには、キーOFFの状態、メーターのコネクターを30秒以上外して再度繋げることで、メーターが再学習可能状態になります。



a5 “ギア表示” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

イグニッションキーをアクセサリ表示にした場合、ギアの表示がされず、“—”表示になります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a5 “ギア表示” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。



⑥ a6 回転数警告ライト設定

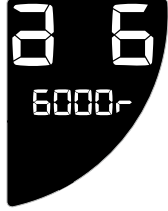
6

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。
- アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態を“短押し”し、a6 “回転数警告ライト” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点減



※ a6 表示は随時点減



■ a6 “回転数警告ライト” 設定画面



数字の切り替え “短押し”
数字の決定 “長押し”
数字決定後は次の位に切り替わります。



※ 選択部分は随時点減



F-OFF (点灯)



又は F-ON (点滅)

設定画面に入ると、1000の位の数字が点滅します。ここでインジケーションランプで警告する回転数を入力します。点滅している位の数字の変更は、“短押し”で行います。数字の決定は“長押し”になります。決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。最後の100の位を決定(長押し)すると設定完了となります。設定範囲: 2000 ~ 8000rpm



決定後、F-OFF (点灯)、又は F-ON (点滅) の表示が点滅します。ここで回転数警告ライトの光り方を選択します。光り方の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

設定範囲: F-OFF (点灯) ・ F-ON (点滅)



a6 “回転数警告ライト” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a6 “回転数警告ライト” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。



⑦ a7 燃料設定

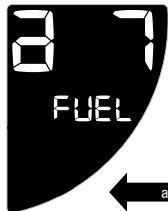
7

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。
 - アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
 - a1 “時計” 設定画面の状態を“短押し”し、a7 “燃料” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。
- 燃料設定の中には更にカテゴリーが“a.1 (フューエルセンサー選択) ・ a.2 (燃料レベルテスト表示) ・ a.3 (燃料タンク容量) ・ a.4 (燃費表示設定)”の4つ存在します。カテゴリー切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点減



※ a7 表示は随時点減



燃料設定の中には更にカテゴリーがの4つあります。カテゴリー切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a.1 表示は随時点減



※ a.2 表示は随時点減



※ a.4 表示は随時点減



※ a.3 表示は随時点減

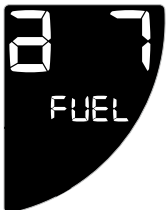


アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a7 “燃料” 設定画面へ切り替えます。

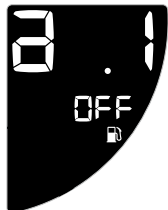
“長押し”で設定画面に入ります。

カテゴリー a.1 フューエルセンサー選択

※ a7 表示は随時点減



※ a.1 表示は随時点減



■ a.1 “フューエルセンサー選択”



※ 選択部分は随時点減



設定画面に入ると、設定項目が点滅します。ここでフューエルセンサー選択を行います。点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目
OFF (非表示)
Spo SU (スポーツスター燃料スイッチ)
F-KIT (フューエルレベルセンサーキット PN. 61200008A)
Dyna (ダイナ)
CUSr (ユーザー設定)

フューエルレベルセンサーを付けていないスポーツスターは“Spo SU”を、付けたスポーツスターは“F-KIT”を、ダイナ、ソフテイルの場合は、“Dyna”を選択して下さい。“OFF”を選択した場合は、燃料残量警告ライトも作動しません。

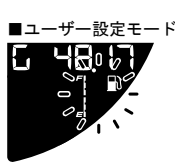


CUSr (ユーザー設定) 以外は設定完了です。a.1 “フューエルセンサー選択”に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

a7 (燃料設定) で“長押し”設定画面に入ります。

a.1 に切り替わりますので、更に“長押し”でフューエルセンサー選択画面に入ります。



※ 選択部分は随時点減

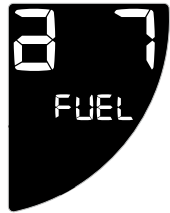
CUSr (ユーザー設定) を選択するとユーザー設定画面へ切り替わります。設定方法は次ページをご覧ください。

7

カテゴリー a.1 フューエルセンサー選択 (ユーザー設定モード)

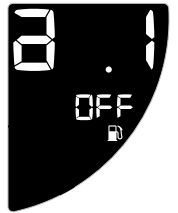


※ a7 表示は随時点滅



a7 (燃料設定) で“長押し”設定画面に入ります。

※ a.1 表示は随時点滅



a.1 に切り替わりますので、更に“長押し”でフューエルセンサー選択画面に入ります。

■ a.1 “フューエルセンサー選択”で CUST (ユーザー設定) を選択



※選択部分は随時点滅

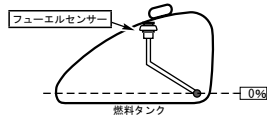
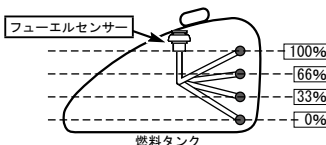
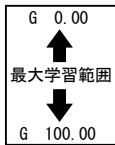
“短押し”で CUST (ユーザー設定) を選択し、“長押し”で決定します。

■ ユーザー設定モード



※選択部分は随時点滅

⚠️ ご注意ください。
CUST (ユーザー設定) は燃料タンクの容量の把握と設定時に必要となるトータル燃料の配分 (%) 作業が必要になります。又、燃料タンクに弊社製メーターが対応しているフューエルセンサー (純正) 装着車であることが前提となります。
※カスタム燃料タンクには対応しない場合があります。
ユーザー設定モードに入るとフューエルインジケーターが点滅した状態になっています。
この状態から燃料レベルをメーターに学習させて行きます。学習させる燃料レベルは 0%・33%・66%・100% の 4 レベルになります。

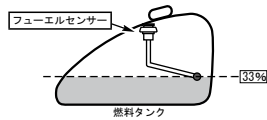


燃料タンク容量：最低値



※選択部分は随時点滅

初めに燃料レベル 0% をメーターに学習させます。
学習前に燃料タンクが最低値になっていることを確認します。油面が安定するまで、揺らさずに 10 ~ 15 秒待ち“短押し”1 回でメーターに学習させます。“長押し”で次の燃料レベル画面に切り替わります。

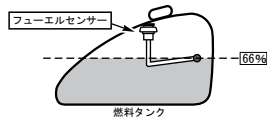


燃料タンク容量：最大燃料レベルの 33%



※選択部分は随時点滅

次に燃料レベル 33% をメーターに学習させます。
学習前に燃料タンクが最大燃料レベルの 33% になっていることを確認します。油面が安定するまで、揺らさずに 10 ~ 15 秒待ち“短押し”1 回でメーターに学習させます。“長押し”で次の燃料レベル画面に切り替わります。

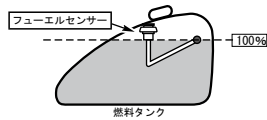


燃料タンク容量：最大燃料レベルの 66%



※選択部分は随時点滅

次に燃料レベル 66% をメーターに学習させます。
学習前に燃料タンクが最大燃料レベルの 66% になっていることを確認します。油面が安定するまで、揺らさずに 10 ~ 15 秒待ち“短押し”1 回でメーターに学習させます。“長押し”で次の燃料レベル画面に切り替わります。



燃料タンク容量：最大燃料レベルの 100%



※選択部分は随時点滅

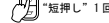
最後に燃料レベル 100% をメーターに学習させます。
学習前に燃料タンクが最大燃料レベルの 100% になっていることを確認します。油面が安定するまで、揺らさずに 10 ~ 15 秒待ち“短押し”1 回でメーターに学習させます。“長押し”で学習 (認識) 確認画面に切り替わります。

■ 学習 (認識) 確認画面



※選択部分は随時点滅

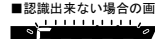
メーターへ内容を認識させる



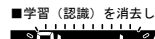
■ 認識完了画面表示



■ 認識出来ない場合の画面表示



■ 学習 (認識) を消去した場合の画面表示



学習 (認識) 確認画面では、“SAVE”が表示されますので、“短押し”でメーターに現在の学習内容を認識させます。その後、問題なければ、“DONE”が表示されて自動的に a7 “燃料” 設定画面に戻ります。

正しく認識されない場合は、“Error”されて自動的に a.1 (ユーザー設定モード) 画面に戻りますので、再度ユーザー設定モードで学習作業、再認識を行って下さい。

現在の学習 (認識) を消去する方法
学習 (認識) 確認画面では、“SAVE”が表示されますので、“長押し”することで、学習 (認識) を消去出来ます。

7

カテゴリー a.2 燃料レベルテスト表示

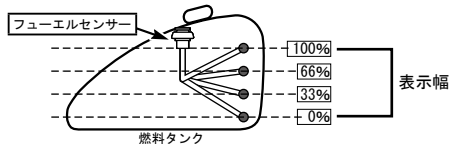


※ a7 表示は随時点滅 ※ a.1 表示は随時点滅 ※ a.2 表示は随時点滅
a7 (燃料設定) で“長押し”設定画面に入ります。
a.1 に切り替わりますので、更に“短押し”で a.2 “燃料レベルテスト表示”にし、“長押し”で設定画面に入ります。

■ a.2 “燃料レベルテスト表示”



設定画面に入ると、現在の燃料レベルが表示されます。
表示幅が正しくない場合は、再度ユーザー設定モードで学習作業、再認識を行って下さい。



“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



カテゴリー a.3 燃料タンク容量



※ a7 表示は随時点滅 ※ a.1 表示は随時点滅 ※ a.3 表示は随時点滅
a7 (燃料設定) で“長押し”設定画面に入ります。
a.1 に切り替わりますので、更に“短押し”で a.3 “燃料タンク容量”にし、“長押し”で設定画面に入ります。

■ a.3 “燃料タンク容量”



※選択部分は随時点滅
項目の切り替え “短押し”
項目の決定 “長押し”

設定画面に入ると、設定項目が点滅します。
ここで燃料タンク容量の ON・OFF を選択します。
点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。
設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目
ON
OFF

OFF を選択した場合は残走行距離表示が非表示になります。
a7 “燃料設定”に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



数字の切り替え “短押し”
数字の決定 “長押し”
数字決定後は次の位に切り替わります。



※選択部分は随時点滅

ON を選択した場合、設定画面に切り替わり、設定出来る数字が点滅します。
ここで希望する燃料タンク容量を入力します。
点滅している数字の変更は、“短押し”で行います。
数字の決定は“長押し”になります。
決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。
最後の数字を決定 (長押し) すると設定完了となります。
設定範囲 : 1.0 ~ 9.9 ガロン (約 3.8 ~ 37.5L)
燃料タンク容量とガス欠 (インジケータ) 表示される時の残量をマニュアル等で調べます。
それを以下の方程式にあてはめて算出します。

タンク容量 - (ガス欠表示時の残量 ÷ 2) = 設定単位
それを設定量に反映させます。

a.3 “燃料タンク容量”に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

カテゴリー a.4 燃費表示設定



※ a7 表示は随時点滅 ※ a.1 表示は随時点滅 ※ a.4 表示は随時点滅
a7 (燃料設定) で“長押し”設定画面に入ります。
a.1 に切り替わりますので、更に“短押し”で a.4 “燃費表示設定”にし、“長押し”で設定画面に入ります。

■ a.4 “燃費表示設定”



※選択部分は随時点滅
設定項目 (5タイプ)
OFF OFF
L/100km L/100km
km/L km/L
MPG (US 規格) MPG (US 規格)
MPG (UK 規格) MPG (UK 規格)

項目の切り替え “短押し”
項目の決定 “長押し”

設定画面に入ると、設定項目が点滅します。
ここでは燃費表示の単位を設定します。
点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。
設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目
OFF
L/100km
km/L
MPG (US 規格)
MPG (UK 規格)

⚠️ ご注意ください。
日本はメートル法の為、km/L を選択して下さい。

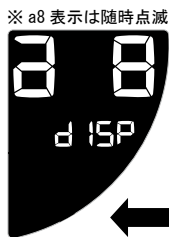
a.4 “燃料タンク容量”に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

⑧ a8 表示設定

8

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態“短押し”し、a8 “表示” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。表示設定の中には更にカテゴリが“a.1 (トリップ B) ・ a.2 (エンジン温度表示設定) ・ a.3 (バッテリー電圧表示設定)” の3つ存在します。カテゴリ切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。



a8 “表示” 設定画面へ戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
“短押し”で a8 “表示” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。



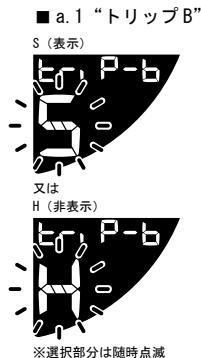
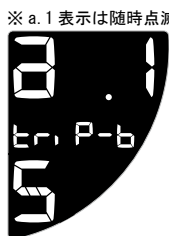
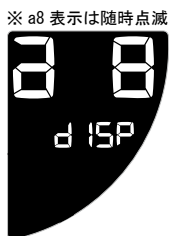
燃料設定の中には更にカテゴリがの3つあります。
カテゴリ切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a.1 表示は随時点滅

※ a.2 表示は随時点滅

※ a.3 表示は随時点滅

カテゴリ a.1 トリップ B



設定画面に入ると、設定項目が点滅します。
ここでトリップ B 表示の表示・非表示を選択します。
点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。
設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目
S (表示)
H (非表示)



a.1 “トリップ B” 設定画面に戻ります。

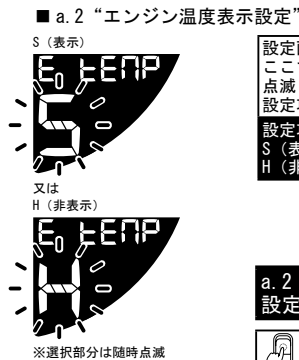
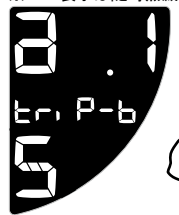
“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

カテゴリ a.2 エンジン温度表示設定

※ a8 表示は随時点滅

※ a.1 表示は随時点滅

※ a.2 表示は随時点滅



設定画面に入ると、設定項目が点滅します。
ここでエンジン温度表示の表示・非表示を選択します。
点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。
設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目
S (表示)
H (非表示)



a.2 “エンジン温度表示設定” 設定画面に戻ります。

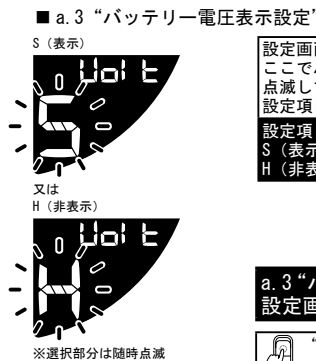
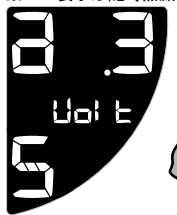
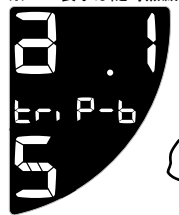
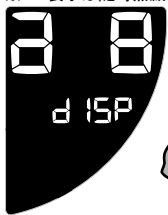
“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

カテゴリ a.3 バッテリー電圧表示設定

※ a8 表示は随時点滅

※ a.1 表示は随時点滅

※ a.3 表示は随時点滅



設定画面に入ると、設定項目が点滅します。
ここでバッテリー電圧表示の表示・非表示を選択します。
点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。
設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目
S (表示)
H (非表示)



a.3 “バッテリー電圧表示設定” 設定画面に戻ります。

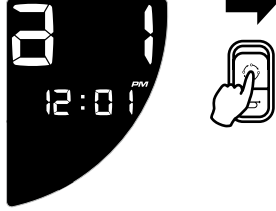
“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

⑨ a9 メンテナンス走行距離設定

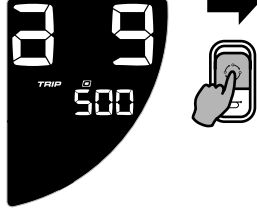
9

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。
- アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態を“短押し”し、a9 “メンテナンス走行距離” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



※ a9 表示は随時点滅



■ a9 “メンテナンス走行距離” 設定画面



※選択部分は随時点滅

設定画面に入ると、設定項目が点滅します。ここでメンテナンス走行距離表示の ON (表示)・OFF (非表示) を選択します。“短押し”で行います。設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目
ON (表示)
OFF (非表示)



OFF (非表示) を選択した場合は設定完了です。a9 “メンテナンス走行距離設定” に戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a9 “メンテナンス走行距離” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。



“短押し”
3秒
“長押し”



数字の切り替え “短押し”
数字の決定 “長押し”
数字決定後は次の位に切り替わります。

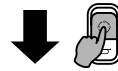


※選択部分は随時点滅

ON (表示) を選択した場合、設定画面に切り替わり、10000の位の数字が点滅します。ここで希望するメンテナンス走行距離を入力します。点滅している位の数字の変更は、“短押し”で行います。数字の決定は“長押し”になります。決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。最後の100の位を決定(長押し)すると設定完了となります。

設定範囲 : 500 ~ 16000km

入力した走行距離は、走行することで自動で減少します。



a9 “メンテナンス走行距離設定” に戻ります。

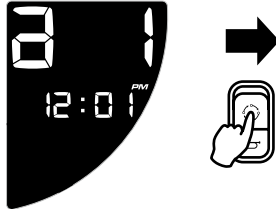
“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

⑩ a10 表示設定

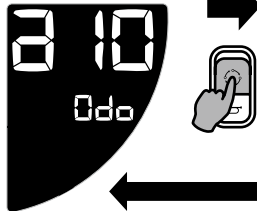
10

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。
- アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態を“短押し”し、a10 “表示” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。
- 表示設定の中には更にカテゴリーが“a.1 (トータル走行距離設定) ・ a.2 (ユーザーオド設定)”の2つ存在します。
- カテゴリー切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



※ a10 表示は随時点滅



燃料設定の中には更にカテゴリーがの2つあります。カテゴリー切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a.1 表示は随時点滅



a10 “走行距離” 設定画面へ戻ります。

※ a.2 表示は随時点滅

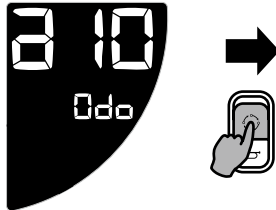


アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a10 “走行距離” 設定画面へ切り替えます。

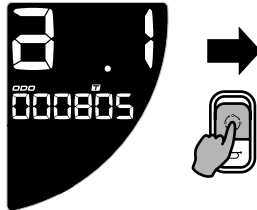
“長押し”で設定画面に入ります。

カテゴリー a.1 トータル走行距離

※ a10 表示は随時点滅



※ a.1 表示は随時点滅



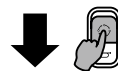
■ a.1 “トータル走行距離”



ここでは当メーター装着後の走行距離を確認出来ます。確認終了は“短押し”で、次の項目画面が変わります。

⚠️ ご注意ください。
トータル走行距離 (オドメーター) の表示は消したり、調整する事は出来ません。

表示範囲 : 0 ~ 999999km



a.2 “ユーザーオド設定” 画面になります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

a10 (走行距離設定) で“長押し”設定画面に入ります。

a.1 に切り替わりますので、更に“長押し”でトータル走行距離画面に入ります。

⑩ a10 表示設定

10

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”することで、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態 で “短押し” し、a10 “表示” 設定画面へ切り替え、“長押し” で設定画面に入ります。表示設定の中には更にカテゴリが “a.1 (トータル走行距離設定) ・ a.2 (ユーザーオド設定)” の2つ存在します。カテゴリ切り替えは “短押し” で行い、“長押し” で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点減



※ a10 表示は随時点減



表示設定の中には更にカテゴリがの2つあります。カテゴリ切り替えは “短押し” で行い、“長押し” で設定画面に入ります。

※ a.1 表示は随時点減



※ a.2 表示は随時点減



a10 “走行距離” 設定画面へ戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
“短押し” で a10 “走行距離” 設定画面へ切り替えます。

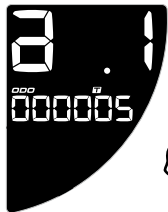
“長押し” で設定画面に入ります。

カテゴリ a.2 ユーザーオド設定

※ a10 表示は随時点減



※ a.1 表示は随時点減



※ a.2 表示は随時点減



■ a.2 “ユーザーオド設定”



a10 (走行距離) で “長押し” 設定画面に入ります。a.1 に切り替わりますので、更に “短押し” で a.2 “ユーザーオド設定” にし、“長押し” で設定画面に入ります。



設定画面に入ると、通常使用時表示するオドメーターの値が表示されます。ここで車両の ECU と走行距離の同期・ユーザーの走行距離入力を行います。

車両の ECU と走行距離の同期

⚠️ ご注意下さい。
タイヤの外周設定 (a4) にてタイヤの外周を変更している場合は、ECU と走行距離の同期は出来ません。
“L” が点滅している状態で、“短押し” することで、同期を自動で行います。“長押し” により、次の項目へ画面が切り替わります。



ユーザーの走行距離入力画面に入ります。同期で終了する場合もこの画面に入り、各位の数値変更を行わずに “長押し” により、項目を終了すると a.2 “ユーザーオド設定” に戻ります。

ユーザーの走行距離入力

⚠️ ご注意下さい。
トータル走行距離 (オドメーター) の表示は消したり、調整する事は出来ません。
ここではユーザーで表示したい距離を入力し、それに加算した距離を確認出来る様、設定することが出来ます。

ユーザーの走行距離入力画面に入ると、100000 の位の数字が点滅します。ここで希望する走行距離を入力します。点滅している位の数字の変更は、“短押し” で行います。数字の決定は “長押し” になります。決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。最後の 100 の位を決定 (長押し) すると設定完了となります。
表示範囲: 0 ~ 999999km
走行することで入力した走行距離に自動で加算されます。

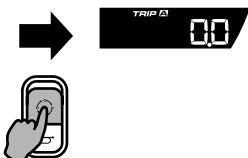
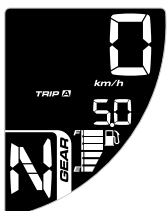


a.2 “ユーザーオド設定” 画面に戻ります。

“短押し” で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

⑪ トリップメーター A の数値をクリアにする方法

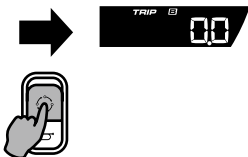
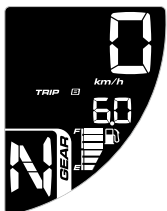
11



- メイン画面液晶表示切り替えてトリップ A 画面にし “長押し” することで、数値がクリアされます。

⑫ トリップメーター B の数値をクリアにする方法

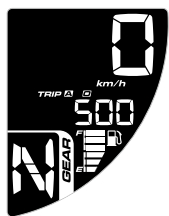
12



- メイン画面液晶表示切り替えてトリップ B 画面にし “長押し” することで、数値がクリアされます。

⑬ メンテナンス走行距離（通知モード）

13

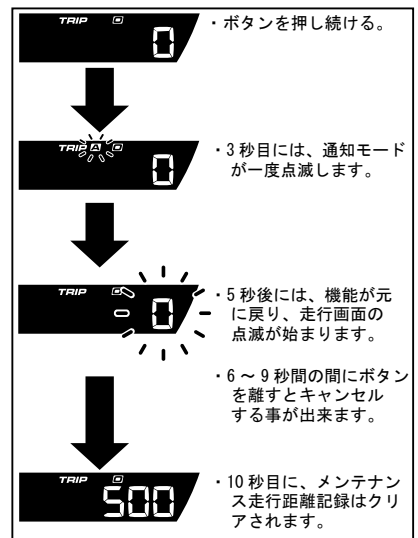


●メイン画面液晶表示切り替えでメンテナンス走行距離画面にし“長押し”することで通知モードになります。

●通知モードでは、メンテナンス走行距離に到達すると他の画面からでも自動的にメンテナンス走行距離画面に変わります。

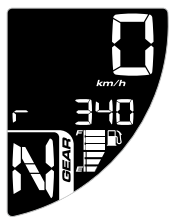
●メンテナンス走行距離が設定した数値から減っていき0になるとスクリーンが点滅します。

●ボタンを10秒間“長押し”するとメンテナンス走行距離記録モードはクリアされます。



⑭ 残走行距離

14



●メイン画面液晶表示切り替えで残走行距離画面にし“長押し”することで通知モードになります。

●通知モードでは残りの距離が短くなると自動的に他の画面からも残走行画面に変わります。

●残りの距離が16km以下になった際には“LO RING”と表示されます。

●燃料センサーがショート又は断線すると“r ——”を表示するか、まったく表示しなくなります。

トラブルシューティング

■下記のような症状の場合はメーターの故障ではありません。修理に出す前にご確認ください。

電源が入っているのにメーターが動かない。

■メーターに電気が来ない。

→配線が確実に繋がっているか確認して下さい。又、配線やヒューズが切れていないか確認して下さい。
→メーター電源にはDC12Vが必要です。バッテリーが古かったり、故障していたりすると機能しません。

※確認後に症状が続くようなら販売店にお問合せ下さい。